

通信 ふくしま

みんなで考え、みんなで決めて、みんなでつくる

「地域連携組織Fukushima支え隊」
令和6年6月1日発足しています。

未来を変えよう
福島地区のために

地域連携組織
Fukushima
支え隊

福島地区住民の生活や暮らしを守るために、地域住民が主体となり、課題解決に取り組んで参ります。

会長 河野 日出男

4つの部会で活動しています

青少年部会

あいさつ運動

高齢者等部会

徘徊模擬訓練

地域防災部会

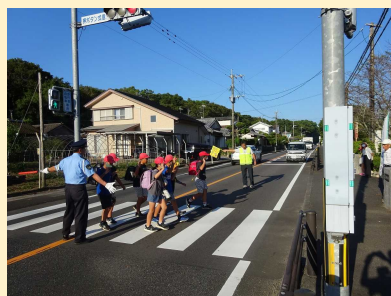
避難訓練

環境美化部会

串間の花「カンナ」の植栽

青少年部会

毎月の初めに、福島地区の小学校および中学校の校門であいさつ運動を行いました。学校関係者も参加し、登校する児童・生徒たちと元気よくあいさつを交わしました。参加者たちは、子供たちの笑顔と元気な姿に触れ、地域の絆が深まることを実感しました。今後もこのような活動を通じて、明るく元気な街づくりに貢献していく予定です。



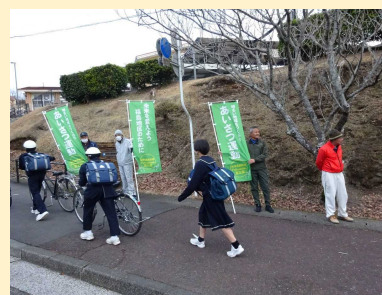
有明小学校



金谷小学校



福島小学校



串間中学校

裏面をご覧ください

地域防災部会

令和6年8月8日、日向灘の地震が発生しました。能登半島地震や東日本大震災は記憶にまだ新しいところです。日頃からの訓練の重要性を認識し、2月23日の寺里防災避難訓練に参加者163名（うち42名はFukushima支え隊）が、その手順を学びました。



高齢者等部会

笠祇地区において、社会福祉協議会並びに関係機関の協力を得、以下の講座等を行いました。

（協力団体：県南病院、市医療介護課、警察署、消防署、福島地区民生委員児童委員協議会、串間市キャラバンメイト、防災士ネットワーク串間支部）

認知症サポーター養成講座：10月20日



認知症講演会：11月10日



認知症高齢者等見守り声掛け模擬訓練：12月1日



環境美化部会

6月30日、Fukushima支え隊のメンバーが集まり、市役所内の花壇に串間市の花である「カンナ」を植え、11月24日には看板を設置しました。市役所にお越しの際は、ぜひカンナをご覧ください。



意見交換会

令和7年2月10日、串間市赤十字奉仕団、宮崎県防災士ネットワーク串間支部のメンバーが集まり、各団体の活動内容等話合った。



【問題点】

- ①少子高齢化が進み、自治会での防災に対する取り組みが難しくなっている。
- ②自主防災組織が機能していない。
- ③災害時における個人情報等の取り扱が難しくなっている

今後は、地域住民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることが重要であり、その為には地域ぐるみでの防災訓練を行う必要があるとの意見があったところです。

支え隊員募集中

あなたの力で福島地区を元気にしませんか！
一緒に福島地区を盛り上げましょう！

地域連携組織Fukushima支え隊
広報委員長：鯉坂 清二

事務局：串間市役所 市民協働課内
電話：0987-55-1139
担当：古川 巧（集落支援員）